



生命尊重推進の会 天使のほほえみ

会報 第29号

イラスト◎ あべまりあ

発行所
天使のほほえみ
発行人 鎌田久子
編集人 野田滋美

日本建国の理想 — 天業恢弘
理事長 鎌田久子
憲法・母体保護法の廃棄改正を



日本建国の理想は、『天業を恢弘し、天が下に光宅となす。』の御心により、全世界を平和な一国家とする。この御業を弘め、述べ伝えて、天地を光に満ちた宅々とする。』の意です。

ああ、かつて日本の他に、このような広大無辺な理念を掲げて、肇国した国があったでしょうか。

日本は二阡六百七拾四年前、この崇高な理念を基に建国され、生々化育、万世一系一百二十五代の今上陛下を奉戴して、今日に至っています。

白人は、地球の陸地80%を植民地にし、有色人種を奴隷として扱ってきました。第一次世界大戦後、日本は最初の国際連盟の会議で、「肌の色による人種差別撤廃」を提案しました。しかし圧倒的に多い白人諸国によって、否決されてしまいました。

昭和十六年十二月八日、大東亜戦争に突入。日本はアジアの先覚者として、欧米諸国からの経済的搾取と、軍事的侵略からのアジア植民地独立のために、自国の命運

を賭したのです。

ダグラス・マッカーサー日本占領軍司令官は、米国上院議院での演説で、「狭小な国土と繊維産業しか持たない日本が、米国製品の輸入を禁止され、ABC包囲網により、石油を止められたら、自衛のために戦争せざるを得なかった」と証言しています。

日本は、原爆を二発も落とされ、昭和天皇の御聖断により、無血終戦を迎えることができました。

しかし私は、原爆よりもっと恐ろしい爆弾二発を落とされて現在にいたっていると思います。

それは、「衆国製憲法」と、「母体保護法」の二つです。この二つを廃棄改正しない限り、愛する祖国は滅亡の一途をたどるしかありません。建国の理想実現のため、日本の両親を選んで生まれてくる尊い生命、世界に真の平和をもちきたす聖なる生命一。

「天使のほほえみ」は、この地球に生まれてくるべき生命を生かす、国の命運をかけた運動を展開しております。

ご協力をお願い申し上げます。◇

平成26年度 総会・記念研修会報告

5月23日に総会を代々木の青少年総合センターにて開催しました。総会の審議内容は別紙をご覧ください。

総会に続いて記念講演会を開催しました。講師は世界出版社社長の茂木弘道先生で、「太陽の国 日本使命」— 明治憲法復元と原発再稼働— と題しての講演でした。

講演は、現憲法の法的不当性、銃剣下での成立過程の不当性、日本性悪説に基づく人種差別憲法である事を説かれ、占領基本法である「日本国憲法」の無効確認と同時に明治憲法の復元・改正がなされるのが正しい憲法改正論であると力説されました。

又、原発に関して、原発は最も安全な電源であり、石油発電は400倍、石炭発電は1900倍の人的危険があると説明され、原発に対する不安感を煽る反核団体の「放射能はどんなに微量でも危険である」とするLNT仮説の非科学性を力説され、その風潮を打破して、日本経済復活のため速やかに原発を再稼働すべきであると講話されました。

内容は会報次号に掲載します。

平成26年11月 代々木一泊研修会開催

本年度の一泊研修会を左記の通り開催致します。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 11月24日(月祝) 1時
～ 11月25日(火) 正午
場所 代々木
青少年総合センター

テーマ 「人のいのち 国のいのち」
一 甦れ 日本精神 —

講師 鈴木信行先生
葛目浩一先生
今井啓介先生
鎌田久子理事長

詳細は同封の案内チラシを参照下さい。◇

お友達をお誘い下さい

年会費 個人	正会員	2千円以上
	賛助会員	5千円以上
	篤志会員	1万円以上
	法人	一口 5千円以上

郵便振替口座
00100-6-316987
天使のほほえみ

(住所変更の際は是非ご連絡下さい)

日本人の子育て

田下昌明 先生

医療法人 歎生会 豊岡中央病院 会長
日本小児科学会 認定小児科専門医
日本小児科医会 「子供の心相談医」
平成25年11月23日ご講演 文責 野田滋美

はじめに

私は小児医療は国防だと思っています。もう一つは、今の子供達が大人になった時、「爺ちゃん婆ちゃんがあつた時にもうちよつと頑張ってくれたら、僕達はこんなにつらい思いをしないで済んだ」と言われては、私達は極楽には行けないんじゃないかと、そう考えています。

Ⅰ 「母子関係の理論」の隠蔽

日本の子育てがおかしくなつたのは大東亜戦争敗戦の後、連合国の日本統治方針によって「日本の持つているものは全部悪い、血まで悪い」というふうに言われ、「胎教や日本式子育てはすべて間違っている」と排斥されたからです。それが、今日ただ今まで続いておりま

す。子供を育てる時に一番大事なことは、何と言ってもお母さんです。お母さんをしつかり育てないと、子供は育たないんです。だから

医療法人 歎生会 豊岡中央病院 会長
日本小児科学会 認定小児科専門医
日本小児科医会 「子供の心相談医」
平成25年11月23日ご講演 文責 野田滋美

母子関係は非常に大事だということ。母子関係については、全国の医学部、全国の看護学校で本当は教えるべきなのに教えていません。どうしてか。それは今の日本の教育界や行政は反日の連中に支配されていて、女性を家庭から職場に引っ張り出すとしており、「ジェンダーフリー」の家族解体のやり方」を実行して、正常な母子関係が成立しないようにしようとしています。そのため「正統な母子関係の理論」は隠されて、世の中に出されないようになっているのです。

Ⅱ 「母子関係の理論」と子育ての実際

比較行動学の父と呼ばれているコンラート・ローレンツは、その「刷り込み理論」によって比較行動学を飛躍的に発展させました。この理論をとり入れてジョン・ボウルビイは母子関係の理論」を大成させました。そ

れらを基にこれからお話をしていきます。

① 母親の生育歴 — 世代間伝達

子育てというのは、あらかじめ練習した人はいなくて、必ず最初から本番なんです。だから「母親の生育歴」がそのまま出てきます。母親がどういふふうな育てられ方をしたか、母親はそのやり方しか知らないんです。自分が母親からされたことを、そのとおりに子供にやる。「子育ては、その子の生まれる20年前から始まっている」という言葉があります。それは実は、「母親の生まれた時から」ということなんです。



ですから、母子関係で問題がある場合には、母親の問題があると。言うよりは、その母親の親の問題があるんです。つまりお爺ちゃんお婆ちゃんに問題がある。「子育て」は、孫までです。「もう子供が成人したんで、私達の子育ては終わったんだ」と言う方がいます。が、そうではない。孫がその祖母のやった子育ての「成績表」な

んです。そのように受け取って下さい。

母親の生育歴という点で問題になるのはそのあたりのことで、「自分がされた通りにやる」というのを、母子関係の言葉では「世代間伝達」と言います。

② 胎内 — 胎教、胎児体験

お母さんの怒り、悲しみ、喜びは、胎児に瞬時に伝わります。これはもう今の医学でわかっています。まして、それによって、「胎教」の重要性や「胎児体験」「子宮内学習」などが研究されています。

胎児は、妊娠5ヶ月を過ぎますと、口や、耳や、鼻もみな、私達と同じように使えるようになります。妊娠6ヶ月以降は、それを使うためのトレーニングをやっていると、思ってください。

目も、私どもと同じように見えます。胎児の見えるものはお母さんの子宮の裏側だけです。それ以外は見ておりませんが、胎児の目は30センチから60センチくらいまでの間が、はっきり見えるように作られています。生まれてすぐお母さんのお乳を吸った時に、お母さんの顔と自分との距離に、ぴったり焦点が合うようになってきます。妊

娠6ヶ月の胎児に、お母さんのお腹の前で太鼓をドンと叩きますと、耳を塞ぎます。お母さんのお腹をサーチライトで照らしますと、胎児は目を覆います。これは医療の分野で、「フアイバースコープ」や、「超音波」などの機器が発達して、胎内の様子も見られるようになったお蔭です。

・胎教

胎児は耳も眼も使えるし、お母さんの感情が瞬時に伝わることをわかったので、「胎教」が重要だということがわかります。胎教は本来、日本のお家芸だったんです。ところがこれも今お話したとおりの「非科学的なそういうことをやっているから今度の戦争を起した」と刷り込まれ、やらなくなりました。

胎教は、やったかやらないかで大きく効果が違います。その違いは100%競走でいうと、胎教をやった子は50%既に先に走って



いて、やらなかった子は最初から走るぐらいの差があります。胎教をしつかりやって生まれた子は、生まれて5分から10分以内にもう笑います。やらなかった子はそうはなりません。

7ヶ月を過ぎれば、男女の別ははっきりわかります。それでは私は、「7ヶ月を過ぎた胎児には、名前をつけて呼びなさい。」と言っています。赤ちゃんは自分の名前を聞いて覚えていて、生まれてすぐ「○○ちゃん」と呼ぶと反応します。

胎教はお母さんだけではなく、先に生まれた子も一緒にやるといい。さらにお爺ちゃんお婆ちゃんと一緒に参加してやると、その分だけ胎児は豊かになります。どんな話でも結構ですが、大事なことは、「皆がお前が生まれて来るのを待っているんだよ」「楽しみにしているんだよ」と言うこと。ここが抜けたらだめですね。何故かというとうと、胎児は話を聞いていて、「自分が生まれて行くのがあまり嬉しくないんじゃないや困る」と思っているんです。

お兄ちゃんお姉ちゃんの中に、下に子供が生まれたら赤ちゃんがえりをする子供がいます。それは、自覚が無いからで、

胎教に参加させると自覚ができません。「今度新しく弟が生まれてくる、妹が生まれてくる、お前もちゃんと面倒見なければだめなんだよ。お母さんを手伝ってね」と言っておくと、その後の話も非常に都合がよくなります。



・胎児の生まれる環境

妊婦のおかれていた状況は次の四通りにわけられます。

- ①妊婦本人も周りも今度の妊娠を非常に喜んで期待している。
 - ②妊婦本人は非常に期待しているんだけど、周りはあまり妊娠を喜んでいない。
 - ③妊婦はあまり妊娠を喜んでいないけれども、周りは非常に期待している。
 - ④妊婦本人も周りも今度の妊娠をあまり期待していない。
- これ以外の状況はないんです。そうするとどんな子が生まれて来るか。これにはデータがあるんです。
- ①は誰が見たついでに決まっています。「満期安産」で、すぐに生まれます。これが最善です。

②の場合、母親は胎児の話になると、相手によっていろいろ言い方を変えなきゃなりません。周りに言う言い方と、喜ぶ親友に言う言い方とを変えなきゃなりません。そういう状況で生まれる子供って言うのは、「二面性を持つ」ようになるんですね。

③その次。これは一番困ったもので、こういう人の胎児というのは、一番問題が起きやすいんです。早産になったり、死産になったり、色々あります。

④妊婦も周りも喜んでいない。これはほとんどない奴が生まれて来るのではないかと思うかもしれませんが、「わりとまとも」なのがでて来るんです。ただ、簡単に言うのと鈍いのが出て来るんです。そういう環境だから胎内で、物を考えないトレーニングを自分でするんです。

これでおわかりと思いますが、環境が悪いと胎教がうまくやれない。このことが問題なんです。

・胎児が胎内で聞いている事例

うちの孫ですが、予定日に生まれない。その日に行ったら、羊水が問題かもしれないから羊水穿刺(せんし)すると言われた。羊水穿刺というのは最悪の検査ですからね。胎児は茫然自失となつ

て、ほとんど気を失うみたいになるんです。絶対にしないで下さいね。その時はやっちゃったんですけど、なんでもなくて良かった。娘がお腹に向かってですね、「お前が約束通りに出て来ないから、先生が針さすと言っているよ」と言ったら、「ドドドド」とこっちに逃げたって言うんです。逃げるんですよ。



1週間後に行ってもまだ出ない。風船入れるとか、陣痛促進剤を使うとか、いろいろ先生が言ったんです。そして娘はまたお腹に向かって、「お前がまだ出て来ないから、先生は注射してお前を出すとやっているよ」と言ったら、その5分後に陣痛が始まった(笑)。そして2時間後に生まれました(笑い)。これは、お腹の中との交信が非常に濃密にできていたという事です。

・人口流産

胎児について、私こんなこと言いたくないんですけども、母体保護法を根拠にした人工流産。あれ

は鋭匙(えいひ)というフォークの先の曲がったような器具で、掻き出すんです。あれを入られると胎児は逃げるんです。それを追いかけて行って引っ掛けて出す。堕胎というのは、まさに悪魔の所業ですね。

ついでに申し上げますが「赤ちゃんポスト」、私は反対ですね。あれは捨て子の奨励です。人間の場合は性交という言葉を使います。動物の場合は交尾と言いますが、動物の交尾と人間の性交とはどこが違うかと言うと、動物はなぜ交尾をしたか、なんで腹が大きくなったか、どうして仔が出てきたか、ということはおわかりません。しかし人間はこの行為をすれば子供が生まれるということを知ってやります。だから、赤ちゃんポストに子供を入れる人は、子供が生まれることを知ってやっただのに、捨てるんですから、動物より悪い。それを手助けするとは何事かということになってくるんです。

③生後1時間 — 母乳吸吮(きゅうつうつ) —

人生で最も大事なものは、生後1時間です。生後1時間をどう

したか。これがその人の将来を決めると言っているくらい重要であります。ここでポイントは30分以内に母乳を飲ませるということです。母乳が飲ませるの顔を見て、お腹の中にいた時にお母さんと通信していたことを思い出し、「ボクのお母さんだ」ということを確認していくわけです。

生後1時間は、赤ちゃんはものすごく精神がしつかりしていて、何でも見てやろう、何でも聞いてやろうと好奇心の固まりでいるんです。その時に、まず最初にお母さんの乳頭を含ませないといけない。お母さん以外の乳頭はその子の乳頭じゃないんです。「ボクの乳頭はこの乳頭だ」と、唇の感覚で刷り込まなければならぬですね。

もう一つ大事なことは、人間のお乳というのは、ウシやヤギみたいに常時作っていて溜めてたやつを随時仔が来て飲むという、そういう作りではなくて、トラやネコやライオンのように、「子が吸いついた時に製造する」んです。それまで作らないんです。

赤ちゃんが生まれるとお母さんの乳腺は、乳汁製造準備完了

になるんです。産後30分で最高に達してスイッチが入るのを待っているんです。そのスイッチは「赤ちゃんが吸いつく」ことで入るんです。そこから製造開始になって行きます。だから母乳の出ないお母さんは、この30分を逸してしまつた人なんです。産婦人科医が生まれた赤ちゃんを新生児室へさつさと連れて行つちやうて、この30分を無駄に過ごしてしまつて、赤ちゃんはお母さんの乳首を覚えられない、お母さんの乳腺にもスイッチが入らない。こういう場合がほとんどです。

一方、母親の方は、赤ちゃんがお母さんの乳を吸つたという刺激でオキシトシンというホルモンが出まして、このホルモンがギューッと子宮を収縮させるんです。すると、だからだと産後の出血をするようなことがなくなるんです。私も総合病院に勤めていたころ、出血多量で危なくなつた母親を診たことがあります。結局、自分の産んだ子にすぐお乳を吸わせれば済む話だったんです。

・母性の成長と母性発達障害

生後24時間の内に、20何人かのお母さんとその赤ちゃんを、

部屋を2つに分けて音が聞こえるようにして、今泣いた赤ん坊は誰の子かという実験をやつた人がいます。すると、生後24時間だと50%ぐらいが当てるんです。あれは私の子だつて、ところが48時間になりますと80%当てるんです。

出産時、この母親たちは単に「子を産んだ女性」です。まだお母さんになっていない。実は、「お母さんにしてくれるのは誰か」というと、その今産んだ子「なんです。その産んだ子は、生まれてたつた何時間かの間にもうこのようにお母さんになつてもうらう仕事をしているんですよ。

ですから赤ちゃんを、生まれてすぐ母親から離してしまつと、赤ちゃんはその時にできる筈の発達ができず、同様に母親もその時の発達が一時止まっちゃう。私は、子を産んだばかりの母親は、子供が「新生児」であるのと同じように、「新生児」である、ずっと言っています。そして、その新生母がちゃんと発達しなければどうなるか。「発達障害母」になるんです。

④6週まで

基本的信頼、母子一体感

E. H. エリクソンという有名な精神科の医者が提唱した考え方で、「新生児と母親との間には、理屈抜

きの、100%お互いを信頼する母子関係ができていく」と。

これを基本的信頼または原信頼と言います。これが母子の一体感の基礎でありまして、母子が一体でないと子供を育てるといふことはできないんです。簡単な話が、「子供が転んだら私が痛い」みたいな気持ちにならないとだめなんですね。

お父さんはどうなるかと言つると、父親はお母さんの強力な後ろ盾になることが仕事です。

基本的信頼形成の次が6週からの「インプリンティング」の時期です。ここが一番親子の関係が成立するのに大事なところなんです。子供の発達というのは一つ一つ順序を追って進んで行くもので、途中が抜けたら飛んで次に行くかと言つと、そうはなりません。

つまり、①まず、胎児との対話があつたかどうか。②それがあつて、生まれて1時間、特に30分以内の授乳。③この1時間にしなければならぬことをやって、今度は基本的信頼形成ということになるんです。



⑤6週から6ヶ月

インプリンティング

(刷り込み、刻印付け)

生得的発達機構、抱き癖

インプリンティング(刷り込み)または「刻印づけ」は母がその子の母になり、子がその母の子になるための非常に大事な時期で、生後6週から始まつて、ほぼ6ヶ月で終わります。この間にほかの動物に連れ去られて、その動物の「刷り込み」を受けると、その動物になつてしまいます。狼にさらわれたら、狼になります。

子供は「成長するシステム」を、女性は「母になるシステム」を先天的に持っています。女性性は子を産んでもそのシステムを起動するスイッチが入らないと、母性は発生しません(生得的発達機構)。このところは非常に大事な問題で、今までは、母親が一方的に子を育てるといふ、つまり「母」は既にでき上がっているという見方でこのところが説明されてきました。が、実はそれは間違つており、新生母が「母」になつていく、すなわち、子も母を育てていくんです。これにはポイントが7つあります。

- 1、赤ちゃんが母の乳頭に吸いつき、その乳を飲む。
- 2、赤ちゃんが母の顔を見つめる。
- 3、母が赤ちゃんに話しかける。
- 4、母が赤ちゃんの微笑みに応答する。
- 5、赤ちゃんが母にしがみつく。
- 6、母の動きに自分もついて行きたいと思う。
- 7、赤ちゃんが泣き叫ぶ。

— 子供が泣いた時にお乳が張るように、泣き声も母を母にしていくんです

この7つをしつかりやって行かないといけません。

・**自他の区別、言葉、時間**

この期間で最も重要なのは「自分と自分でない者の区別」ができるようになることで、それが「人見知り」です。知能のほうでは「言葉」と「時間」の原初的なものを覚えます。

この7項目をしつかりやっていると、お母さんとの一体感ができますから、お母さんが部屋から出ていくと、「いつ帰って来るのかなあ」と思うんです。そう思うことで、「時間」という感覚ができてきます。それから、お母さんが話しかけることによつて、「言葉」を覚えます。この

時に母子一体感がないとだめなんです。

・**「抱き癖」を付ける**

この7項目を全うするのはとても簡単で、「抱き癖」をつけさえすれば一挙に解決です。抱っこすることによつて、子供の日々発する多量の母性発因子が、お母さんの持っている「母性発生システム」に対していちいちスイッチを入れていき、母性を発達させていくんです。

追加しますと、子が出したサインで「母性発生システム」にスイッチが入るのですが、それは継母でもいいんです。女性にはこのシステムが始めから備わっていますから、赤ちゃんを養育するサイインが、その貰ったお母さんの母性発生システムを起動していきますから、貰った子でも大丈夫ということになります。

・**3歳までは母子密着が必須**

3歳までの間に保育園などに預けて、日常的、常習的に何時間か母子が離れると、子供のほうは母親と離れても、犬であろ



うが、鳥であろうが、人間であろうが、保護されたい、嫌われたら殺されるかも知れないという幼弱動物としての本能があるので、何とか育ちます。ただし薄っぺらな人間になりやすい。

しかし母のほうは、わが子が出したサインでなければスイッチが入らないものだから、母性発生のスイッチがとどころどころ抜けた状態で生後3年間を過ごしていきます。すると、「発達障害母」という、母になりきらない母親が、母のつもりで子を育てるということになってしまいます。だから、3歳までは母子は一緒にいなければならぬんです。

とにかくこのところは子育ての根っこになるところなので、大事なことです。

インプリンティングが済みますと、「ボクのお母さんはこの人」、「私の子供はこの子」ということが完全に成立します。母親が自分の子供はこの子とわからないってそんなバカなことはないだろうと、皆さん思います。私もずっと勉強しながら思っています。しかし、この子は私の子供ということがわからない人が「発達障害母」であり、そういう人が「子殺し」をやったりする。

ですから今、日本人の子供でどういう子が可哀想かというところ、いじめられて、遺書を書いて自殺する子が、何と言っても日本で一番可哀想な子供だと思えます。それはしかし、どうしてそうなったか。子供が逃げ込むところがないからです。それは、「インプリンティング」と次の「アタッチメント」がしつかりできてないからなんです。

皆さん児童相談所に行ったことがないかもしれませんが、子供は親のことを絶対に悪く言いません。今日入所してくる子が来た。そしたら頬に傷をしている。それはもう親にやられたこととはわかっています。で、子供に聞きます。「どうしたのその傷」。「いまそこで転んだの」と、そういうことを言います。いじめられて死ぬ子の遺書に、「お父さんお母さん、あんた達が僕の逃げ込むところを作ってくれなかったから」なんて書いた子は1人もおりません。「お父さんお母さんご免なさい」です。

ですから、インプリンティングのところ、その母が、あるいは父が、母になりきっていない、父になりきっていないということが如実に出てくるわけです。

⑥6ヶ月から3歳

アタッチメント(愛着行動)

心の安全基地、信頼感

インプリンティングが終わりますと、次のアタッチメント(愛着行動)に入ります。

カモのヒナが親ガモの後を追いかけている、あれがアタッチメントの原型です。何がそこで発生するかと言うと、子供というのは幼弱で戦えないので、攻撃された時にどこへ逃げ込んだらいいかということ、この期間に決めるんですね。それが決まっていなくて遺書を書いて自殺するようなことになる。いじめた奴がいいと言っているんじゃないやありません。悪いに決まっています。誤解のないようお願いいたします。

アタッチメントというのは、根っこはそういうことなんです。これが「人を信頼する」ということの一歩の基礎になります。最も人間としての基礎になるところなんです。

動物は仔が生産可能になると親とのアタッチメントは消滅しますが、人間の場合は一生続きます。逃げ込む相手というか、信頼関係ですね。一生というより人間は死んでも続くんなんです。

お墓参りはアタッチメントです。

・愛着対象の順序

アタッチメントは①まず最初に母親と結ばれます。子供と母親ですね。②次はお父さんとの間。③次が兄弟との間。④その次が先生です。幼稚園や学校の先生。⑤その次が友達です。⑥最後は恋人です。

こういう段階を踏んで、アタッチメントは発達していきますが、これがしつかりできていないと、友達を信頼できないし、すぐ離婚するんです。

似た者で夫婦になりますから、アタッチメントがしつかりできていない人、あまりできていない人とは始めから結婚に至りづらい。ではどうなるかというと、アタッチメントがしつかりしていない者同士、あるいはきつちりできていない者同士で結婚します。しつかりできていない者同士が結婚すると、離婚ということにすべいってしまいうということになります。

⑦3歳以降

母子関係の維持、強化

アタッチメントの基礎ができて上がるのは、2歳半から3歳で

す。どのくらいの年齢ではどれぐらいの時間母と離れても大丈夫か、というところで判定をやる研究がありますが、「3歳までは片時も離れてはだめ」です。3歳までは、とにかくトイレに行くにもくっついていたほうがいい。じゃあ、お母さんと離れて暮らせるのはどのくらいかと言いますと、「4歳で5日くらい」です。ただ家族にお爺ちゃんお婆ちゃんがいる、アタッチメントがしつかりできている場合には、最長2週間ぐらいまでは大丈夫です。

しかし、それ以上離れると、やっぱり「母子分離の症状」が出てまいります。子供にとって何が一番恐ろしいかと言つと、母子分離なんです。このことさえ起こらなければ、子供は真つ当に育つと言つてもいいぐらいです。

その母子分離にも長いものと短いがあります。短いのは、「数分いなくなつてすぐ帰つて来た」、から始まつてですね、一日5時間とか、そういう母子分離があります。もっと長いのは、「お母さんが病気になった」とか、あるいは「離婚した」とか、あるいは「施設に預けた」など、こういう母子分離の時間が、長

ければ長いほど子供の成長を阻害します。それと同時に、お母さんの発達が阻害されます。

お母さんの発達が阻害されるという理論はほとんど誰も言いません。今のところ私しか言っていないのではないかと思いますが、これは極めて重要なことなのです。

「しるし」

あなたにどんな病気があつてもあなたにどんなに生きることが下手でも

それはあなたが「あなた」を生きてきたというしるしだから

立派なだれかではなく器用なだれかではなく

あなたに多くのことを教えてもらったから

「あなた」という人生を生きるあなたに

にしだひろみさん「いのち」より

日本を想う徒然のエッセイ

今啓パール 今井啓介社長

■行詰つた憲法。日本は二千年の歴史を70年位の短い時空間で国柄を判断する位の態度で良いのか。過去の戦いの実証を見れば歴然。反省も謝罪もその都度、政治家の態度で示している。

内外で行詰つた時の緊急事態条項(震災)が無い。日中の対立の尖閣諸島然り、北朝鮮は日本をターゲットにしている。日米安保も米国の弱つた体力も、日本の自覚を求めている。

■占領軍の禁の「日の丸」が振られ、「君が代」が歌われ、君民一体、このような平和で温かい美しい情景が、他の敗戦国のごとに見る事があつたらうか。

天皇陛下は亡命どころかマッカーサーに生命をかけて日本の国民に食糧をと、自らの財産目録を風呂敷つつみにして差し出された。戦争責任は私にあると迄添えてである。

■マッカーサーは日本が戦争に到つた理由を、歴史を踏まえた日本の事情やアジアの情勢を細かく語つた。その内容は東京裁

判での東條英機の弁明陳述とほとんど同じ。断罪された東條の陳述を正しいと認めて、上院で日本のセキユリニイのためであつたと報告、証言をしたのである。

■私達の子供の頃は「恥の教育」をされていた。小学校の先生からも「恥ずかしい事はしない様に。」「父さん母さんも身内の外では『父母』と言え。」「公と私を区別しろ。」「私」ことよりも他の事から始めよ」と。私事は後回し。日本人の高い精神性と道徳心、礼儀正しさは、外国人から「貧しい国ながら、この国は素晴らしい」と言われていた。戦後の服装は貧しいが精神は褒められていた。

賢そうに見えて、実は無知の「賢い阿保」より、知識や教養はあるも控えめな、茶目つ気のある「賢い阿保」は良いが、「阿呆う阿呆う」にならぬよう。

■自分ひとりでは物事を成し遂げられないものではない。だが、私一人でも立ち上がらない事には何事も成らない。そして信頼の同志と共に作り上げるものだ。



21世紀を生きる子どもたちに我々が伝えるべきこと

三鷹市議会議員 吉野和之先生

電車に乗ると当たり前のよう
にほとんどの人が携帯の画面を
みておりますが、このことはつ
い最近までは全く考えられなか
ったことです。21世紀には間
違ひなくIT社会は飛躍的に発
展し、一方ではクローン技術な
ど人間の生命のあり方さえも変
えてしまうような技術が発展し
ていく社会になることは確実で
あります。よほどしっかりとし
た精神的基盤をもたないと、S
Fものではないですが、人間性
の喪失が進み大変住みにくい社
会になってしまうのではないかと
老婆心ながら危惧しております。

一点目は、「刹那主義」です。
これは、歴史の連続性を否定
して現在だけをとりえる考え方
です。
すなわち、過去の悠久の民族の歴史を顧みず、過去の歴史を否定的にみて連続性を否定する考え方です。

私は、「精神的基盤を確立する
第一歩は、祖先への尊崇の念から
始まる」といっても過言ではな
いと考えるものです。
しかし、祖先を尊崇すること
は人間としての基本であるべき
なのに、祖先を侮辱することが
あたかも進歩的であるかと考
える風潮が所謂戦後社会にはあ
ります。

残念ながら日本人自身の中に
おいてさえ、祖先に唾を吐きか
けるような考えを持つ方が存在
し、その思潮が戦後社会の中で
メインだったのは極めて残念な
ことと言わざるを得ません。確
かに先人たちの行動をすべて

正当化し美化することだけで良
いとは思わないし、どこの世界に
も一部無法者が存在しており、反
省すべき点については謙虚に反
省すべきだとは思います。しか
し、先人たちの歩みは、その基本
的方向性においては尊崇の念を
もつて尊重すべきであり、とくに
近代史において、これでもかとい
うように根拠のない事件をとら
えて先人たちを侮辱し、中国、朝
鮮などの方々の反日運動に乗っ
かっている人々の感覚を私は全
く理解できませんし、そのような
教育を受けた子どもたちが健全
に育つはずはありません。



私はしっかりとした精神的基
盤を持つて21世紀を生き抜く
子どもたちを育てるキーポイン
トは、所謂戦後思潮を反省する
こと(安倍首相の唱える戦後レジ
ームからの脱却) から始まると
考えます。この戦後レジームは、
現憲法をその精神的基盤として
戦後社会の中ではびこっている
思潮です。
戦後思潮の主なポイントを私
なりに3つ上げてみました。

二点目は「実存主義」です。
これは、「自分の実存だけを信
じて」、「神仏を尊崇することは
人間の弱さだ」と考えることで
あり、「物のみが絶対である」とす
る唯物的思想です。
実存主義の恐ろしさは神仏を
否定することによって人間が傲
慢に陥ってしまうことです。ド
ストエフスキーが「罪と罰」で描
いた恐ろしい人間像が連想されま
す。

以上現憲法、戦後社会の問題
点について3点挙げましたが、
これを克服することが教育再生
の条件であると考えます。
戦後思潮の問題点を克服する
ためにも、一例として仏教にお
ける四恩という考え方を挙げた
と思います。四恩とは、
1、父母の恩
2、国の恩
3、衆生の恩
4、三宝(仏・法・僧)の恩です。
私はこの四恩というのは、時
代を超えて大切にしている価値で
あると思います。
私は現憲法はこの四恩をも無視
しているものであると考えま
す。

四恩に全く価値を置かない現
憲法を教え込まれている子供
たちに、21世紀を生き抜く精
神的基盤を与えることはできま
せん。
現憲法の問題点及びそれを克
服する一例として四恩をあげま
したが、先人たちの教えを尊崇
の念を持って謙虚に学ぶ事、

この頃
私の内には幼い愛があった
冬の日 水仕事をする人を
その手を温めてあげたくて
自分の手を火鉢であぶり
その人のもとへ走る
そして冷たい手を握る
またあぶる
手を握る
そのくり返し

少しでも温めてあげたくて必死
だった
わたしが私を信じられない時も
その自分の思いは信じられる

教育は「こ」からスタートすべきで
ある」と私は考えるものでありま
す。
21世紀を生き抜く子どもた
ちが、しっかりとした精神的基盤
を持てる様な教育環境を整える
ためにも、天使のほほえみの活動
は極めて大きな時代の使命をも
つたものであると考えます。◇



「ふたたびこの運動に 巡り合えて」

三谷 満 理事

私は昭和30年代から、真の日本再生のため、明治憲法復元改正・優生保護法改正運動に真剣に取り組んでおりました。

玉置和郎氏を昭和四十年に参議院に送り出し、優生保護法改正にますます拍車がかかり、何度も署名運動をしました。私は今治の責任者でしたから、衆参両議院議長に署名名簿をまとめて何回も送りましたが、その内衝撃的な事が起こりました。昭和五十八年七月三十一日に私の所属していた団体から「活動を中止する」との緊急通達があり、私の優生保護法改正運動へのひたすらな思いは断たれてしまいました。

しかし平成二十四年に、突然鎌田理事長からお電話があり、「『天使のほほえみ』として(優生改め)母体保護法改正運動を続けている。」とお聞きし、熱い感動を覚えました。

再びこの運動に賭けてみよう！と心に決め、早速申込書を送って頂き、入会させて頂きました。私が回りの方に熱心に

母体保護法改正の必要性をお話しすると、十一名の方が入会して下さいました。

昨年(二十五年)の十一月には一泊研修会に参加して、素晴らしい方々と共に勉強することができました。

一日も早く法律が改正され、多くのお腹の赤ちゃんが助かり、素晴らしい国の生命・民族の生命が尊重される時が来るまで、頑張ります。

活動報告

5~7月での活動報告です。

○総会、講演会を開催しました。

○明治憲法復元改正をお願いする投書を有識者120人位に発送しました。現憲法無効確認と明治憲法復元改正が法的にも一番妥当で、混乱なく緩やかな移行となる事を述べました。

○議員訪問は、少子化担当大臣の森雅子大臣へのアポイントを取る努力をするも、なかなか都合が合わず、実現できませんでしたが、少子化対策提案を作成。

○チャンネル桜へ8月より協賛広告を出しました。毎日どれかが放映されます。(最下図参照)

・少子化の元凶

「母体保護法」の改正を！

・胎児は立派な一人の人間

大切に産みましよう！

・日本精神を取り戻すため

「明治憲法復元」を！

会員による「和歌」の紹介

- ・「東日本大震災 被災・救出・避難所」 川久保勲
- ・大津波避難を告ぐる放送の マイク放さず逝きにし乙女
- ・年若き遺体運びの自衛官 タンカなければ背負ひて運ぶ
- ・譲り合ふ大和心に外つ国は ただ驚きの声あぐるのみ

「飛鳥探訪」

野田滋美

- ・聖太子生まれ給える橘寺 丘に堂々靈然として立つ 橘寺
- ・大化成る板蓋宮は中心の 律令国家建設の跡 板蓋宮
- ・聖太子天智天武と持統にて 公地公民法治国家なる 板蓋宮
- ・甘樫の丘にたたずみ見渡せば 日の本形成飛鳥に涙す 甘樫の丘
- ・大君は神にしませば人麻呂の 詠みし雷緑草深し 雷丘
- ・鎮座より一步も動かぬ飛鳥仏 奇しき奇跡里人の守り 飛鳥寺

「両陛下下行幸啓 那須戦争博物館」

野田寛美子

- ・皆で行く那須の戦争博物館 一万五千の愛国の文ぞ
- ・兵器見て命がけで国守る 挺身の様に釘付けとなる
- ・先輩の心の気高さ胸を打ち 明治憲法復元の切望胸に湧きくる
- ・両陛下七十余歳でお国のために インドご訪問かたじけなきや
- ・らい病の患者の悲しみ拭かれて 至上の幸と言われしめられる

○8/15には靖國神社大鳥居前にて、今年も母体保護法改正を訴えるチラシを数人で3000枚程度配布します。9時集合です。

○地元への母体保護法改正チラシ、子宮頸がんワクチンの危険性チラシ、憲法改正チラシ等の配布を、ほぼ毎日ポスティングにて実施しています。

毎日
右は常に、
左は1ある
いは2つ
が、放映
されます。



今後の行事予定

- ・代々木一泊研修会
- 日時 11月24日(月祝)
- 〃 25日(火)
- 場所 代々木青少年センター
- センター棟513
- (25日は 503)

